

大阪府立茨田高等学校 平成 29 年度 第 2 回学校協議会 記録

出席者

協議委員 川村幸治、寺野雅之、藤田政治、綿世良一、板倉千恵子（敬称略）

学校側 亀元校長、坂東教頭、藤原教頭、松井首席、島田首席

欠席者

早坂三郎委員

第一部

①学校長あいさつ

○学校の現状報告

○学校説明会の出席予定者について

②○本校教育の現状についての説明 別紙参照

①「きょういくニュース 188 号（12月号）」

特色ある学校づくりの原稿 [坂東教頭]

②「茨田高校の取り組み紹介！茨田高校ってこんな学校！」 フライヤー
[松井首席]

③「茨田高校をどんな学校だと思っっていますか？」 [松井首席]

④いじめに関するアンケートの結果 [島田首席]

⑤進路の決定状況 [島田首席]

○協議委員からの意見

- ・特色のある取り組み、文言のアドバイス。
- ・いじめに関するアンケートの項目をもう少し精選をしてはどうか
- ・中学生は視野が狭いので、学校の選択には、教育活動の他の要素が加わることが多い。 例) 落ち着いている、近いなど
- ・平成30年受験生が新しくなった入試制度の完成型となる。(評価対象が中学1年生からとなる)
- ・評価が10段階から5段階になり、また絶対評価に変わり、評定のインフレ化が起こっている。(差がつきにくくなっている)
- ・中学校訪問は「広く浅く」から「近場を深く」を意識してはどうか？
- ・他地区では生徒の数は減っているが、鶴見区では増加傾向(緑・今津校区)
- ・中学卒業生は減少傾向だが、私立専願希望者は増えており、公立離れの傾向が見られる。

第二部

議長：川村様

テーマ：本校教育の全般について

- 子どもを茨田高校に入学させてよかったと思う。自信を付けることができた。インターナショナルディなどの取り組みは学期に1回にしたら生徒の楽しみが増えるのではないかな？
- 茨田高校にいて、先生の頑張りで学校が変わるのを実感した。悪い噂がなかなか消えないことを残念に思っている。
- 活躍している卒業生を学校説明会などで、話をしてもらうのがいいかなと思う。
- 今日来校したときに視界に入らないくらいの遠くから野球部の生徒があいさつをしてくれた。その生徒の気持ちが伝わるだけではなく、あいさつができる子どもの指導された先生のすべてが見える。地域は生徒の変わった様子を見ている。
- あいさつや口紅、服装など基本的なことからコツコツと指導していくこと。やはり服装や頭髪などの見た目が大切。
- 粘り越して頑張るしかない。努力している姿を中学校に見せることが必要。

○校長あいさつ